

## 1. 渡嘉敷村の概要

村営定期船「フェリーとかしき(所要時間70分)」、「マリンライナーとかしき(所要時間35分)」の2隻体制で毎日運航し、那覇(泊港)から短時間の船旅で訪れることのできる美しい砂浜と透明度が高く七色の変化をみせる海と田園風景が広がる素朴で人情あふれる風光明媚な島であります。

これからも、豊かな自然環境と地域独自の伝統や文化を育み、受け継ぎ、安らぎと生きがいに満ちた明るい豊かな村作りを目指していきます。

The map illustrates the location of Wajigashima (渡嘉敷島) within the Ryukyu Islands. It shows the main islands of Japan (Honshu, Shikoku, Kyushu) and the Ryukyu archipelago. A red dashed line indicates the ferry route from the Japanese mainland to Wajigashima. Key locations marked include Naha (那覇), Ishigaki (石垣), and Wajigashima (渡嘉敷島). The map also shows the surrounding waters and the proximity to the Philippines (フィリピン).



## 2. 渡嘉敷村の人口と暮らし

本村の人口は令和3年7月末現在712人で、世帯数は414世帯となっています。平成3年には652人まで減少し、平成18年には742人まで増加しましたが、近年は微減傾向にあります。15～19歳の階層は進学等のために一時的に流出するものの、20代～30代にかけて人口が増えており、本村へのUターンやIターン者が増えてきております。

令和2年度の産業別就業比は、第1次産業が3.7%、第2次産業が4.4%、第3次産業が91.9%となっており、特に第3次産業のなかでも宿泊業やダイビングやマリンスポーツ等のサービス業の割合が38.7%と本村ならではの特性を活かした観光産業の振興が進んでいることを裏付けています。

(令和2年 国勢調査より)

### 【令和4年9月末日現在】

総人口・・・702人 世帯数・・・415戸

渡嘉敷小中学校・・・中学生34人、小学生39人 阿波連小学校・・・14人

渡嘉敷幼稚園・・・24人 とかしき保育所・・・12人



### とかしきマラソン

(2019年 第15回大会の様子)

毎年 2月の第1土曜日開催



### とかしきまつり

(2017年のまつりの様子)

毎年 7月に開催

### 3. 社会教育活動の場

#### ①渡嘉敷村中央公民館

中央公民館は昭和53年4月に完成し、総面積864.85㎡の一部3階建てで300名収容可能の大ホールや研修室、調理実習室、和室など村民の交流の場として利用されております。

式典や祝賀会をはじめ、生年祝いや成人式、芸能公演会、映画上映会、移動図書館などの行事の開催場所としてだけではなく、お年寄りのミニデイサービスや小学生対象の学習塾の開講など、子どもからお年寄りまで村民みんなが集う場として広く活用されています。



## 【利用及び活動団体】

### ・渡嘉敷村地域包括支援センター

毎週月曜日の13:00～15:00の時間に大ホールを利用して体操教室を行っている。

### ・渡嘉敷村社会福祉協議会

ミニデイレクリエーション 毎月1回概ね65歳以上の方を対象とし輪投げやビンボーリング等の遊びの中で身体を動かし健康維持・増進のための活動を行っている。レク後のお茶会では2ヶ月に1回参加者の誕生会も行っている。



### ・渡嘉敷空手サークル「最強」

(対面指導・・・週1回、遠隔個別指導・・・週3回)

人数:7名程度(小学生～中学生)

内容:島出身の青年による空手指導。空手を通し心と身体の育成を図る目的で始められた。村の一大イベントである「とかしきまつり」にも出演し、堂々とした演舞を披露している。

現在では、インターネットを利用しパソコン画面での遠隔個別指導も取り入れている。



・習字教室(月1回)

人数:30名程度(幼稚園児～大人)

内容:茅原書藝会所属師範 末吉理沙による硬筆・毛筆の指導。  
幼稚園児から毛筆にふれることができ、また、大人の硬筆指導も行っている。



・渡嘉敷村オンライン学習塾

対象:小学校5年～中学校3年

内容:インターネットを利用した学習塾の実施。

学習アプリを活用しての学習塾を実施。

中学生とその保護者を対象に志望校決定セミナー

毎週水曜日には、塾の講師が来島し、苦手な科目を直接指導する。

中学3年生は「高校受験合宿」も行っている。

※小学生 … 17:30～19:00

国語・算数

中学生 … 19:30～21:00

英語・数学(基礎・発展)



## ②国立沖縄青少年交流の家

昭和47年5月15日に沖縄の本土復帰を記念して、前身で全国に13箇所ある国立青年の家の第10番目の研修施設「国立青年の家」として渡嘉敷島に設置されました。

本村の地域性や立地条件を活かし様々な自然体験活動、ふれあいの場として、全国をはじめ近年では海外の青少年からも幅広く活用され親しまれています。



### 【共催事業】

#### ・とかしき通学合宿(年1回実施 6月)

子ども達が親元を離れ、交流の家に2泊3日宿泊をしながら学校へと通う。

テレビもない、スマホ・ゲームも無い環境の中で、異年齢集団の中で自己を律しながら、規則正しい生活やコミュニケーションを深める活動を通して、協調性や社会性を身につけさせていくことを目的とする。



## 4. 社会教育事業

### 主な年間行事

4月 海開き	10月 各校運動会、カジマヤー祝い
6月 平和学習会 通学合宿	11月 読書まつり
7月 とかしきまつり	12月 CGG運動・トリムマラソン大会 空飛ぶ図書館
8月 空とぶ図書館	1月 合同生年祝、成人式 村駅伝大会
9月 敬老会 おやこ映写会	2月 文化祭
	3月 卒業式、白玉の塔慰霊祭

#### ①空とぶ図書館(年2回)

内容: 沖縄県立図書館との共催事業。平成23年度より取り組みを開始し、現在では8月と2月の年2回開催している。県立図書館より600冊以上の多くのジャンルの本がやってきて子どもから大人、お年寄りまでが好きな本を15冊まで借りることができる。  
公立図書館の無い渡嘉敷村においてはとても有効的な事業である。



#### ②おやこ映写会(年1回)

内容: 南部広域行政組合との共催事業。  
南部広域行政組合視聴覚ライブラリーより200インチの大型スクリーンを借りて、最新映画の上映会を開催している。  
今年度は、「アンダー・ザ・シー」を上映し、多くの村民が来場した。



### ③とかしき村文化祭

目的:近年、公民館活動が停滞する中、本村に伝わる文化や芸能を継承発展させるため、芸能発表の部や作品展示を行い、公民館活動を推進し心豊かな村作りを目指す。

令和4年度は「美ら島おきなわ文化祭2022」の独自事業として開催

内容:芸能発表の部・村内で活動している芸能団体・サークル等の成果発表の場として公演を行う。

- ・渡嘉敷村青年会(エイサー)
- ・慶良間太鼓同志会(和太鼓)
- ・渡嘉敷島ハワイアンフラ(フラ)
- ・空手サークル「最強」(空手)
- ・Tokashiki dance Club(ストリートダンス)

作品展示の部・写真(村内の素晴らしい景色や行事)

- ・アクセサリー(貝殻やシーガラスなどを利用)
- ・書道(サークル活動発表)
- ・自主製作映像(島の風景)



## ④公民館講座

村民の学びの場として、毎年島外から講師を招いて「公民館講座」を開催しています。

### 1. 令和元年度「スポーツリズムINとかしき」

講師：阿宮 秀子（スポーツリズムトレーニング協会認定インストラクター）

目的：家族や仲間と一緒に、リズムに合わせて様々なジャンプをすることで運動と音楽の楽しさを共有しながら、体力向上を図る。

参加：全71名



### 2. 令和2年度「心もスッキリお片付け講座」

講師：与那嶺えりか（整理収納アドバイザー）

目的：整理収納アドバイザーから収納のコツを学び、部屋（身の回り）をキレイにすることで、心も穏やかになり日常の生活も愉しく過ごせることを目的とする。

\* 新型コロナウイルス感染症予防の為、オンライン会議システムを用いて開催。



### 3. 令和4年度「渡嘉敷でアニメの勉強会」

講師：しらと たけし（アニメ監督）

目的：日本の魅力的文化（クールジャパン）として海外にも多く知られる「アニメ」について、その魅力、制作方法を学び考える。



### 4. 令和4年度「渡嘉敷村陸上教室」

講師：アスリート工房所属講師

目的：陸上競技における「走る・跳ぶ」を専門講師から身体の使い方などを学び 今後の技術力向上、体力向上に繋げる。

対象：小学生から中学生



## 5. 渡嘉敷村の特徴ある活動内容

### ①朝のラジオ体操

渡嘉敷村では平日（出校日）の朝に毎日ラジオ体操を行っています。  
渡嘉敷・渡嘉志久・阿波連の3地域にそれぞれ分かれて、子ども達はもちろんのこと、学校の先生や保護者、また、地域の方々まで多くの方々が参加しています。



### ②伝統芸能の継承

#### 【渡嘉敷村青年会】

会員数の減少により一時は途絶えていた青年会活動だが、平成7年に再結成されたあとは、生年祝いや成人式、地域行事への積極的な参加をはじめ、独居老人宅清掃ボランティアなどの活動を行い地域活性に努めている。

平成10年より取り組みを始めたエイサーは、現在では「とかしきまつり」や祝賀会への出演、また、地域の小中学生にもエイサー指導を行っており、毎年行われる運動会で披露している。



## 【慶良間太鼓同志会】

島の新しい伝統文化の創造と継承を目的に1985年に結成。以後、村の観光PRや文化交流事業を村内外、県内外で精力的に活動している。2016年9月に豊見城市立中央公民館で開催された結成30周年自主公演は500人以上の集客を集め大成功を収めた。

また、青少年育成活動として島の幼稚園児の「にじいろ太鼓」をはじめ、小学生では「美ら島とかしき太鼓(渡嘉敷小学校)」「あはりっ子太鼓(阿波連小学校)」、中学生による「風神太鼓」など幼稚園児から中学生まで全ての子ども達へ島の伝統文化の継承を行っている。

それらの実績が認められ、2008年には「沖縄県社会教育功劳賞」を受賞している。

来年(令和5年)8月には、延期となっていた結成35周年記念公演を、浦添市でだこホールで予定している。



### ③伝統行事の継承

#### 『大綱引き』

毎年旧暦の6月25日(カシチーの日)に行われており、その歴史は古くはじまりは不明だが、一説には400年前から続くと言われている。

渡嘉敷部落にある村役場前を中心とし東西に分かれ、旗頭にはそれぞれ、東「払悪風招清気」・西「奉神恵樂豊年」と書かれている。現在では港のある東が勝てば「大漁」、水田のある西が勝てば「豊作」となると言われている。

綱引き当日は、朝から綱打ち作業等を行い夕方までに綱を編み終わる。

出来上がった大綱は東西ともに40m、太さ直径約40cmとなる。

新型コロナウイルス感染拡大により、2年間中止となっていたが、渡嘉敷区長と教育委員会が連携し「技術の継承」として、村民に呼びかけ綱編みのみを行い神社に奉納した。



## 『渡嘉敷村成人式 式典・祝賀会』

毎年、成人の日の前の土曜日に渡嘉敷村中央公民館で行われている。渡嘉敷中学校卒業生だけではなく、一時期でも渡嘉敷で生活したことのある子ども達全員を対象とし、村をあげて成人者を祝福・激励している。

当時の担任の先生なども来島し、成人者のみならず地域の人との再会を懐かしむ場面も見受けられる。

祝賀会では、青年会のエイサーなど芸能団体による余興をはじめ、成人者父母、村役場職員、学校職員など成人者と関わりを持つ全ての人達が参加している。

15の春に島を離れた子ども達が5年後の成人式で大きく成長した姿を見せてくれることを島全体で喜び、応援していく、村民の温かさがつまった行事となっている。

近年は、新型コロナウイルスの影響により、参加者を限定しての式典のみの実施とし、祝賀会は中止としている。



## 5. 成果

- ・中央公民館を活動の場の中心として、子どもからお年寄りまでが集まることによって、世代を越えたひととひととのつながりができている。
- ・慶良間太鼓同志会や渡嘉敷村青年会の積極的な活動により、子ども達への伝統芸能の継承が根強いものとなっている。
- ・国立沖縄青少年交流の家という全国でも有数の研修施設があることにより、離島に居ながら、国内外との異文化交流、様々な芸術文化とのふれあい、自然体験活動が行える。

## 6. 今後の課題と取り組み

- ・中央公民館での講座や教室を開設し、村民の生涯学習の場を更に広げていく
- ・伝統芸能、地域行事の継承の中で、世代を越えたひととひとがつながりを持った地域コミュニティ作りを目指す。

